

歯科衛生士ニュース

参加者
28 県連 86 事業所 167 名

全日本民主医療機関連合会 歯科部

発行日：2024 年 5 月 7 日 発行人：岩下明夫

歯科衛生士交流集会在福岡で開催されました！

終日、グループで過ごしたため、たくさんの交流や学びがありました。

1日目



看護（師）・介護（介護福祉士）・医師から、歯科衛生士との現場での関わり方についての報告を受け、明日へのヒントをいただただけでなく、歯科衛生士に対しての熱い思いや期待の言葉に励まされました。その後、「歯科衛生士の基本となるもの」の最終的な意見集約を行いました。



最後は、「確保と育成の課題」について意見交換を行いました。上手くいっている事業所は少なく、多くの事業所が困難な状況を抱えていました。その中でも、処遇と民医連マインドの継承が最も難しい課題と感じました。しかし、「仲間がいる」「みんなで集まればできる気がする」「つながりを感じることできた」などの感想から、民医連の強みを見つけた 1 日目でした。

2日目

ICF について、加賀美先生を講師に招き学習しました。

ICF は、病気を中心に捉えるのではなく、患者の＜生活＞を中心に捉える考え方で、その人の強みを伸ばしていく問題解決ツールです。「チーム医療のツールとして活用できると連携がスムーズになる」と先生よりアドバイスを頂きました。続いて SGD では、演習事例を基に、アセスメントシート・APIC シート・ICF シートへ記載作業を話し合いながら行いました。不慣れなシートへの記入に時間がかかり、どのように自院所で活用していくのか課題も残りました。民医連の歯科衛生士として必要なチーム医療への関わり方と目と構えを深める 2 日目となりました。



「歯科衛生士の基本となるもの」が完成しました。
新たな民医連歯科衛生士の歴史的な第一歩を
あゆみはじめました。。。

第 45 期

全日本民医連歯科衛生士委員

NEWS 担当 関東地協 相互歯科 相曽訓子